

特記仕様書(電気設備)	
第1章 建築概要 ●印を適用範囲とする	
1 工事名称	大西運輸(株)本社倉庫
2 工事場所	金沢市 示野町地内
3 工事種別	○新築 ○増築 □改築 □その他 主要用途: 消防法別表:
4 地域指定	都市計画区域: □内□外/防火地域: □防火□準防火□無指定
5 建物規模	建築面積: m2 / 延床面積: m2 階数(地上) 2階(地下) 階 / 増築計画: □有 □無
6 建物構造	□SRC □RC ●SC □木造
7 工事項目	備考
高圧受変電設備工事	● ○ ○
自家発電設備工事	○ ○ ○
太陽光発電設備工事	○ ○ ○
幹線・動力設備工事	● ○ ○
電灯・受口設備工事	● ○ ○
(f)配線設備	● ○ ○
(g)照明器具設備	● ○ ○
(h)非常照明・誘導灯設備	○ ○ ○
電話設備工事	● ○ ○
(i)配管・配線設備	● ○ ○
(n)電話交換機設備	○ ○ ○
LAN配管・配線設備工事	● ○ ○
テレビ視聴設備工事	● ○ ○
ITV設備工事	○ ○ ○
インターホン設備工事	○ ○ ○
ナースコール設備工事	○ ○ ○
放送設備工事	● ○ ○
自動火災報知設備工事	● ○ ○
非常通報設備工事	○ ○ ○
防火戸制御設備工事	○ ○ ○
避雷針設備工事	○ ○ ○
水道集中検針設備工事	○ ○ ○
第2章 一般共通事項	
1 一般事項	設計図書、特記仕様書の他、下記規定に基づき施工すること 「電気設備技術基準」(最新版) 「内線規定」電気技術基準調査委員会編(最新版) 「電気設備工事共通仕様書」建設大臣官庁官庁管轄部監修(最新版) 「消防法」 「建築基準法」等関係法令 設計図書に明記なき場合、又は、相違のある場合は原則として次の優先順位による。 (1)現場説明書、質疑回答書 (2)特記仕様書 (3)設計図 設計図書に於ける法規上、技術上の疑義を生じた場合、担当係員と協議による他、当然必要と認められる軽微な変更は請負金額の範囲内で施工にあたるものとする。 施工に際して所定の様式の施工図、並びに関係書類を事前に提出し係員の承認と指示に従い、誠実意に施工すること。 工事に必要な関係官庁への申請手続、並びに検査立会等は、請負者が遅滞なく行うものとし、これに要する費用も請負者の負担とする。 本工事に使用する機材が必要と思われる機材について各製作工場に於いて所定の検査を行い、試験成績表を提出すること。 本工事を施工するにあたり提出する図書は下記とする。 (1)工事請負契約書 (2)工事工程表 (3)現場代理人及び主任技術者届 (4)資材メーカーリスト (5)施工図及び完成図 (6)工程写真及び完成写真 (7)機器取扱説明書及び試験成績表 (8)その他係員の指示するもの 2 共通事項 照明器具の内、設計図に明記なきものについては下記による。 一般照明器具: LED方式 非常照明器具: 予備電源内蔵型 誘導灯器具: 予備電源内蔵型

3 別途工事	配線器具は原則として、フルカラー運用形とし、プレートは(樹脂製、新金属製、ステンレス製)を使用する 電話用空配管等には、1.2mm以上のビニール被覆鉄線を通して置くものとする。 配管、プルボックス等の見え掛り部分に設けるものは周囲の色と同様に塗装仕上げを行うこと。 (1)北陸電力引込工事負担金 (2)電話局線引込工事負担金 (3)受電後、引き渡し迄の電力基本料金及び使用料金 (4)その他設計図書に「別途」と明記のもの			
4 特記事項	防火区画の貫通 (金属管工事の場合) 建築基準法施工令第112条第15項により電線管が防火区画を貫通する場合当該管との隙間をモルタルその他の不燃材料で埋める(ケーブル工事の場合) 建築基準法施工令第129条の2第7号により貫通部分から両側1m以内の距離にある部分を電線管に納め、その両端に耐熱シール材を詰めること。もしくは(財)日本建築センターに於いて防火性能評価を取得した工法に於て施工すること。			
第3章 工事区分表 ●印を適用範囲とする				
電気	衛生	空調	建築	備考
配電盤基礎コンクリート工事	○	○	○	●
地中埋設電路用土工事	●	○	○	○
床、壁、梁のスリーブ、仮柱工事	●	○	○	○
同上鉄筋補強工事	○	○	○	●
点検口、点検扉、タラップ	○	○	○	●
空調制御用配管配線工事	○	○	●	○
ファンコイルスイッチ	○	○	●	○
同上取付工事	○	○	●	○
同上配管配線工事	○	○	●	○
天井扇、換気扇取付工事	○	○	●	○
フロートスイッチ取付工事	○	○	●	○
電極棒取付工事	○	○	○	○
天井埋込器具用天井開口、補強工事	●	○	○	○
配線用ビッド	○	○	○	●
同上用蓋、金物工事	○	○	○	●
昇降機インターホン取付工事	○	○	○	○
同上配管配線工事	●	○	○	○
電動シャッター用スイッチ取付工事	○	○	○	●
同上用配管工事	●	○	○	○
電気設備用はつり、穴あけ、補修工事	●	○	○	○
自家発電機基礎コンクリート工事	○	○	○	●
第4章 工事概要 ●印を適用範囲とする				
● 高圧受変電設備	責任分界点以後の配管配線と受変電設備機器の据付工事の一切 受電方式 三相三線式 6600V 60Hz ● P-F-S ○ PF-CB ○ CB 変電方式 ● キュービクル式 ○ フレーム変電方式 変圧器 ● 油入変圧器 ○ 乾式変圧器 ○ モールド形変圧器 ○ 省電力形 塩害 ○ 塩害無し ● 塩害有り			
○ 太陽光発電設備	太陽光発電装置の据付工事を行い、試験調整までの一切 屋根置形 多結晶 Wモジュール x 枚 入力 DC V 出力 AC V			
○ 自家発電設備	自家発電機及び付属機器の据付並びに排気、冷却水、燃料等の配管工事を行い試験調整までの一切 ○ポータブル式(キュービクル型、開放型) ○定置式 ○普通形 ○低騒音形 ○超低騒音形 発電機 三相三線式 V Hz KVA エンジン ○ディーゼル機関 ○ガスタービン機関 馬力 回転 始動方式 ○電気式 ○空気式			

● 幹線・動力設備	工事範囲 (高圧受電の幹線)受変電設備低圧盤二次側の配管配線及び分電盤、制御盤の取付迄の一切 (低圧受電の幹線)引込口以後の配管配線及び分電盤、制御盤の取付迄の一切 (動力) 動力分電盤制御盤二次側の配管配線及び機器との接続までの一切 電気方式 動力: ● 三相三線 210V ○ 三相三線 440V 電灯: ○ 単相二線 105V ● 単相三線 210/105V ○ 単相二線 210V(深夜)
● 電灯受口設備	工事範囲 電灯分電盤二次側の配管配線及び配線器具及び照明器具の取付 配線方式 ○配管配線 ○VVFケーブル ●前記併用 ○ハイ角運用型 ○ハイ運用型 ○大角型 ●コスモシリーズ ○樹脂製 ●新金属 ○ステンレス製 ○コスモシリーズ 一般照明器具 ●LED方式 非常照明器具 ○予備電源内蔵型 ○予備電源別置型 誘導灯器具 ○予備電源内蔵型 ○予備電源別置型 ○一般型○減光型○薄型
● 電話設備	工事範囲 電話機器の取付並びに保安器盤、端子盤等の取付及び配管配線を行い試験調整迄の一切 配線方式 ○配管配線 ●配線含まず(配管のみ) ○電話機取付含む ○電話機取付含まず 主装置 ○ボタン式 ○交換式 ○リレー式 ○電子式 電話機 ○ダイヤル式 ○プッシュ式 内外線数 ○外線 回線 ○子機 台
● LAN設備	工事範囲 LANの配管配線を行い試験調整迄の一切 配線方式 ○配管配線 ●配線含まず(配管のみ) ○LAN受口取付含む ●LAN受口取付含まず
● テレビ視聴設備	工事範囲 アンテナ、増幅器、混合器、分配器、整合器等の取付工事及び配管配線工事を行い試験調整迄の一切 配線方式 ○配管配線 ●ケーブル配線 ○前記併用 アンテナ ○B/L規格品 ●一般標準品 ○ステンレス その他機器 ○B/L規格品 ●一般標準品 ●含む ●含まず ○調査のみ(事前、事後)
● インターホン、ナースコール設備	工事範囲 インターホン、ナースコール機器の取付工事、配管配線及び試験調整一式 配線方式 ○配管配線 ○ケーブル配線 ○前記併用 型式 ○壁掛型 ○卓上型 ○拡声型 通話方式 ○同時通話式 ○交互通話式 ○PHS機能 対向方式 ○親子式 ○相互式 電源 ○AC 100V ○DC(乾電池)
● 放送設備	工事範囲 放送アンプ、マイクロホン、スピーカー等の取付工事及び配管配線を行い試験調整迄の一切 配線方式 ○配管配線 ○ケーブル配線 ●前記併用 機能 ●業務用放送 ○非常用放送 ○業務用非常用兼用放送 5回線 60W ●卓上型 ○壁掛型 ○ロッカー型 付属機器 ○プレーヤー ○BGM装置 ○チャイム○カセットデッキ ○マイクロホン ○ラジオチューナー内蔵
● 自動火災報知設備	工事範囲 受信機、発信器、表示灯、電鈴、感知器等の取付工事及び配管配線を行い試験調整、官庁手続き迄の一切 配線方式 ○配管配線 ○ケーブル配線 ●前記併用 受信機 P型 1級 15回線 ●単独型 ○複合型 副受信機 型 級 回線 総合盤 ○単独型 ●消火栓ボックス組込型 住宅用火災警報器 ○電池式 ○AC 100V
○ 防火戸制御設備	工事範囲 運動制御盤、電気錠、感知器等の取付工事及び配管配線を行い試験調整、官庁手続き迄の一切 配線方式 ○配管配線 ○ケーブル配線 ○前記併用 回線 ○単独型 ○複合型

○ 避雷針設備

工事範囲 避雷突針、避雷導線、試験端子、接地極等の取付工事及び配管配線を行い試験調整、官庁手続き迄の一切
配線方式 ○単独引下導線 ○建物躯体主鉄筋利用
避雷突針 ○金メッキ ○クロムメッキ
導体 ○銅線 ○銅帯
端子盤 ○黄銅製 ○耐食アルミ合金製 ○硬質ビニル製
接地極

第5章 主要機器、材料メーカーリスト
本工事に使用する機器、材料は、下記の製造業者の製品またはこれと同等以上と係員が認めたものとする。

品名	製造業者
鋼製電線管	パナソニック、日本パイプ製造、東芝鋼管、丸一鋼管
同上付属品	同上他、摂陽工業、外山電機
硬質ビニル電線管	積水化学工業、クボタ、三菱樹脂
同上付属品	同上他、日動電工、東洋化学産業、小松電機製作所
電線、ケーブル	日立電線、古河電気工業、藤倉電線、住友電気工業、昭和電線 矢崎総業、三菱電線工業
高低圧受配電盤	日立製作所、東芝、三菱電機、富士電機製造、パナソニック、日東 大日製作所、別川製作所、河村、内外、三陽製作所
高低圧遮断器	日立製作所、東芝、三菱電機、富士電機製造、パナソニック
高低圧開閉器	戸上電機、日本高圧、高松電気、日幸電気
変圧器	日立製作所、東芝、三菱電機、ダイヘン、日新電機
高低圧コンデンサ	ニチコン、日新電機、パナソニック
ディーゼル発電機	日立製作所、東芝、三菱電機、明電舎、ヤンマーディーゼル
分電盤、端子盤	別川製作所、大日製作所、パナソニック、河村、日東、内外
太陽光発電	SHARP、京セラ、パナソニック、三菱電機
照明器具	パナソニック、東芝ライテック、小泉産業、ジャストコーポレーション
配線器具	パナソニック、東芝電材、神保電器
換気扇	三菱電機、パナソニック、日立製作所
放送機器	TOA、パナソニック、日本ビクター、ソニー
インターホン	アイホン、東芝ライテック、パナソニック
電気時計	パナソニック、TICシチズン、服部時計店
電話機、交換機	日立製作所、富士通、日本電気
テレビ視聴機器	パナソニック、DMアンテナ、八木アンテナ、マスプロ電工
自動火災報知機器	ホーチキ、ニッタン、能美防災工業
避雷針	大阪避雷針工業、東京避雷針工業、ライオン電材

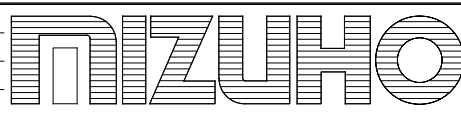
第6章 防火区画貫通処理工法について
防火区画貫通処理図 1 建築設備設計・施工上の指導指針(1995年版)より抜粋



耐火シール材	メーカー名
ダンシールP	古河電気工業(株)
SFシール	住友電気工業(株)
DFパテン	三菱電線工業(株)
タイカライトプラスA	日本インシュレーション(株)

注意事項
1. 金属管は防火区画の両側に1m以上突き出す。
2. 耐火シール材を使用する。

防火区画貫通処理図 2 国土交通大臣認定 PS060WL-0297

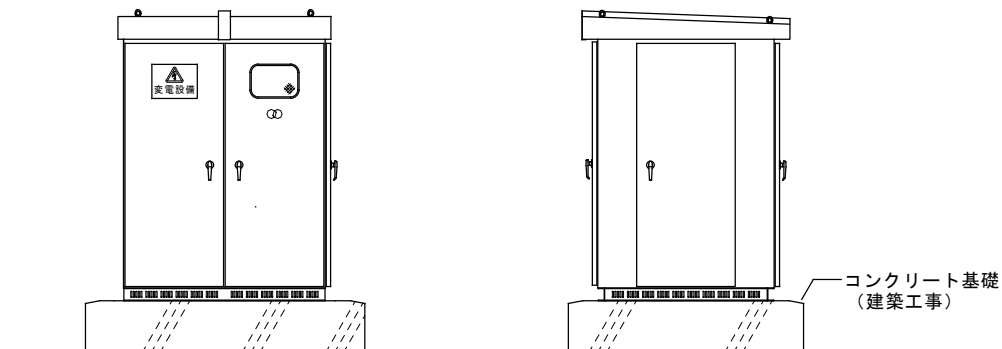



総合建設業
みづほ工業株式会社
一級建築士事務所 知事登録1027号 一級建築士 第150116号 池田 憲成
金沢市八日市5丁目562番 TEL(076)240-7010

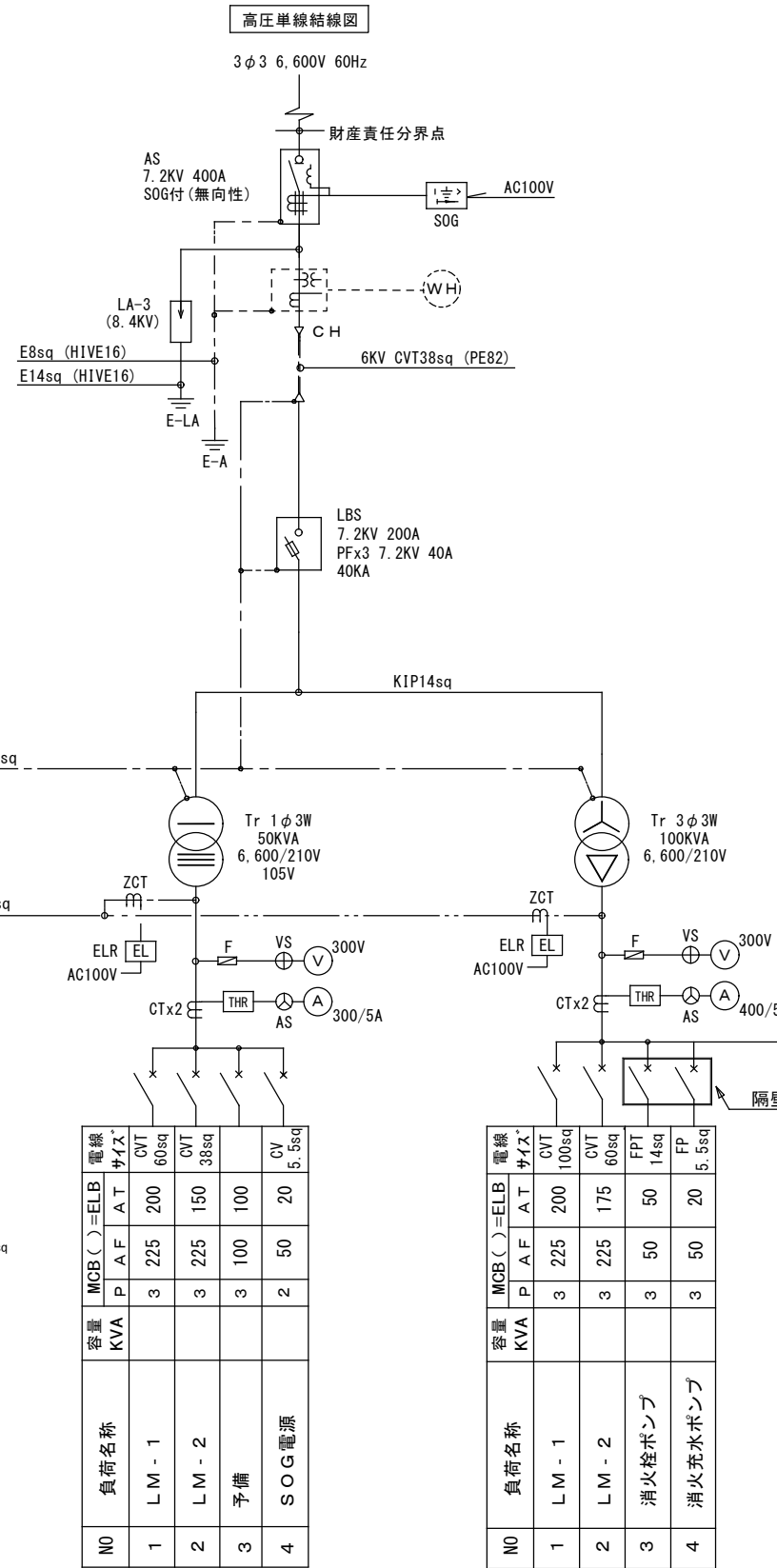
工事名称 大西運輸(株)本社倉庫新築工事
図面名称 電気特記仕様書図
図面番号 E-O1
御承認 検図 製図 作成 '19.11.00 縮尺 1/200 出力

特記事項

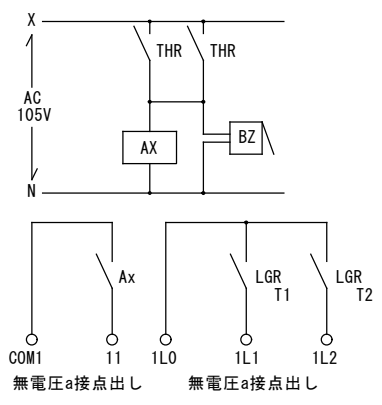
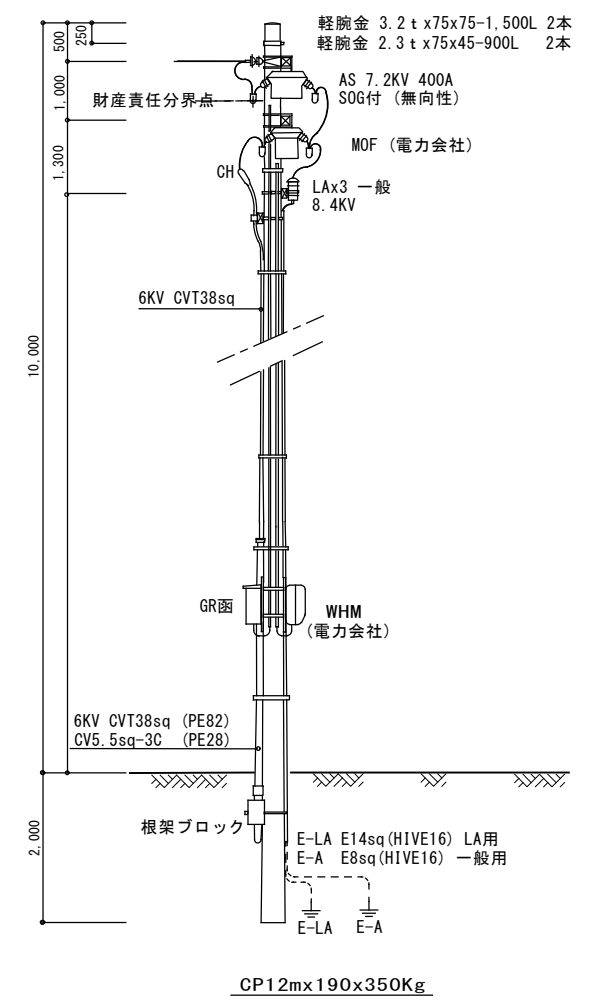
1. 屋外キュービクル受電設備は、JISC4620に準ずる。
2. 屋外キュービクルの扉は、ストッパー付とする。
3. 変圧器の取付は、防振ゴムを設置し施工すること。
4. 函体は銅板製 t 2.3mmとし、標準色メラミン焼付塗装とする。
5. 内部に所内灯を設置すること。
6. 機器の製作は、監督員の承諾を受けてから行うこと。
7. 基礎は別途工事（建築工事）とする。
8. チャンネルベースは溶融亜鉛メッキとし、底板付とする。
9. 屋外キュービクル及び装柱用高压機器に於いては耐塩仕様とする。
10. 消防認定品とする。

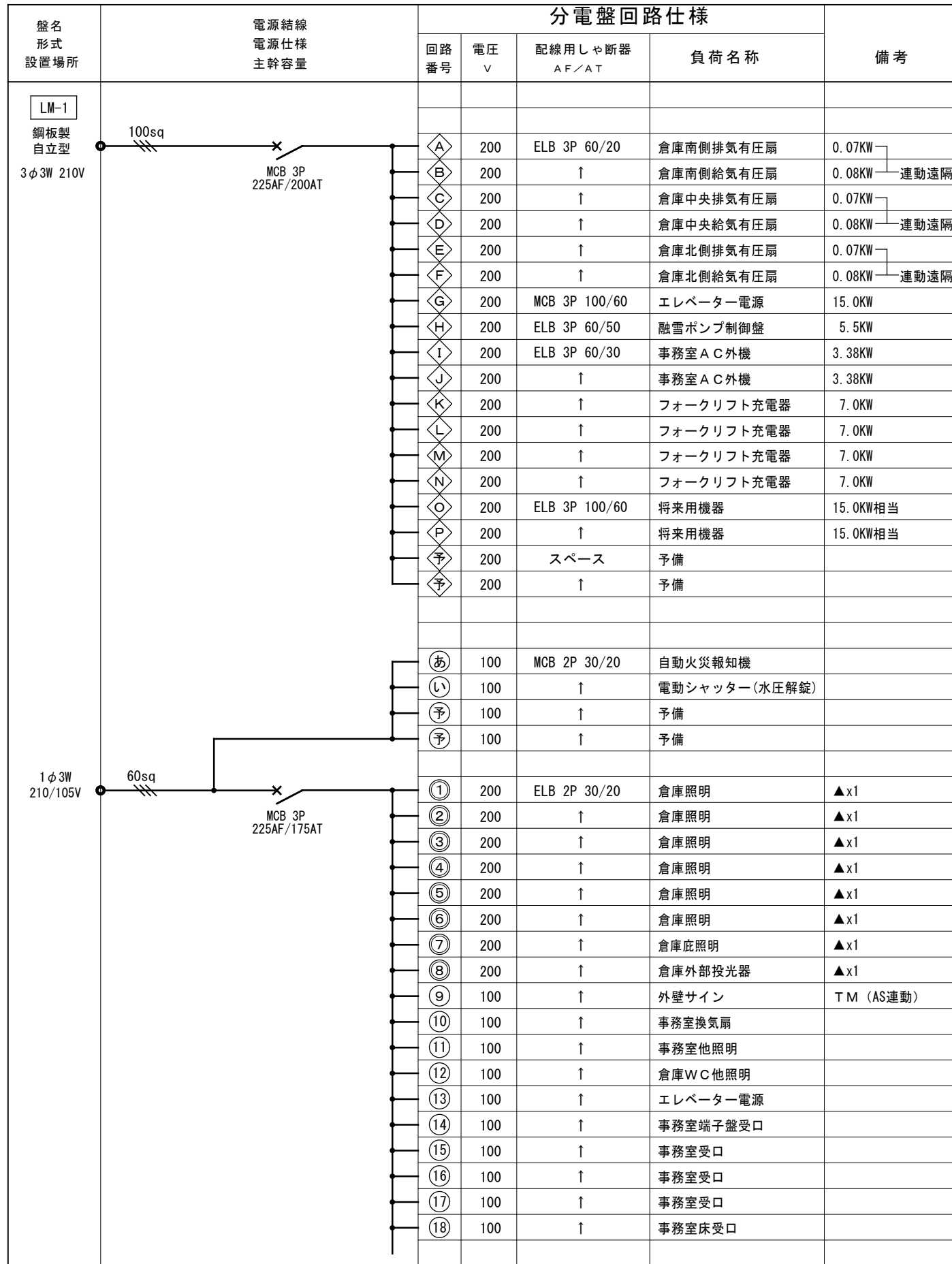


キュービクル外観図

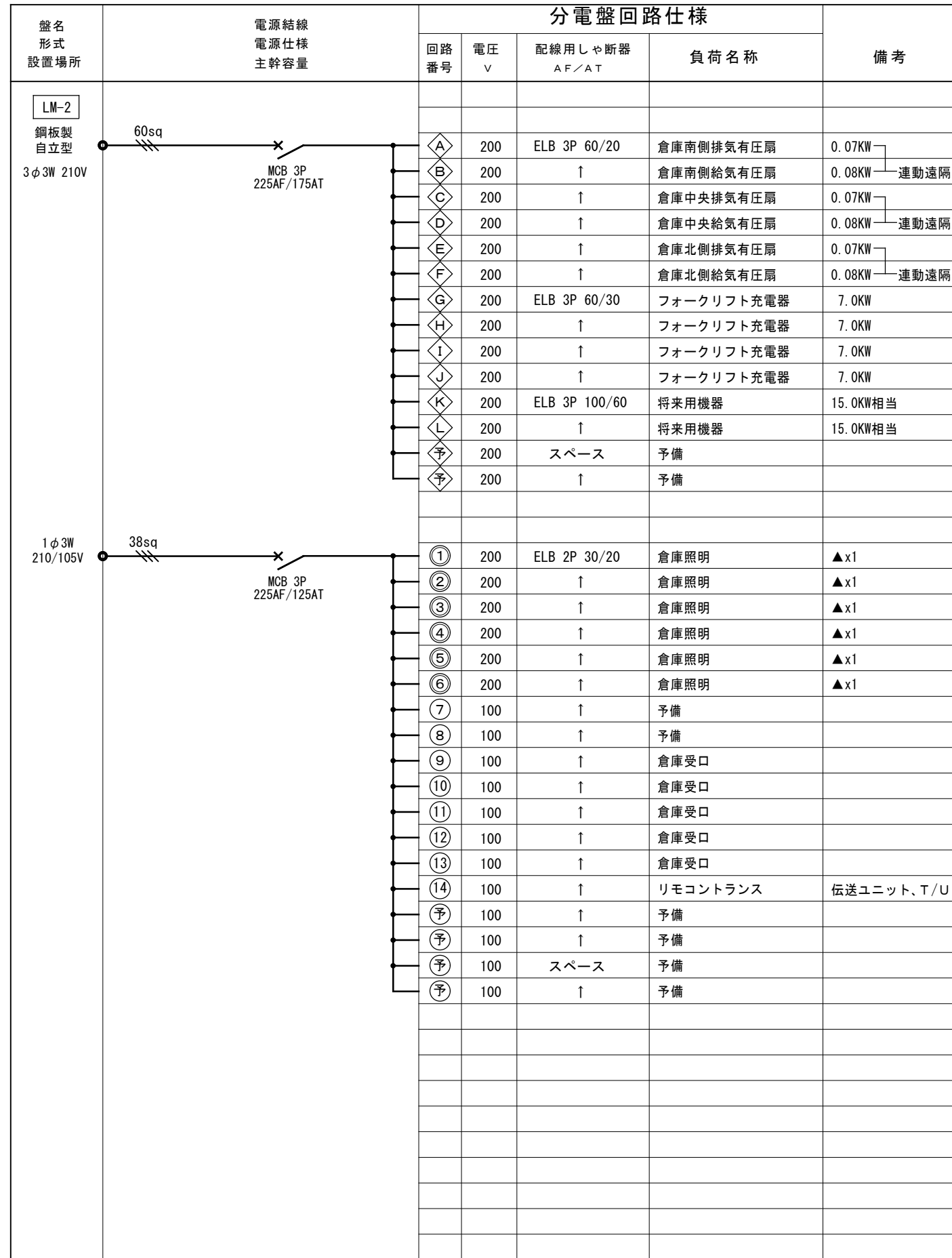


高圧引込柱 装柱図

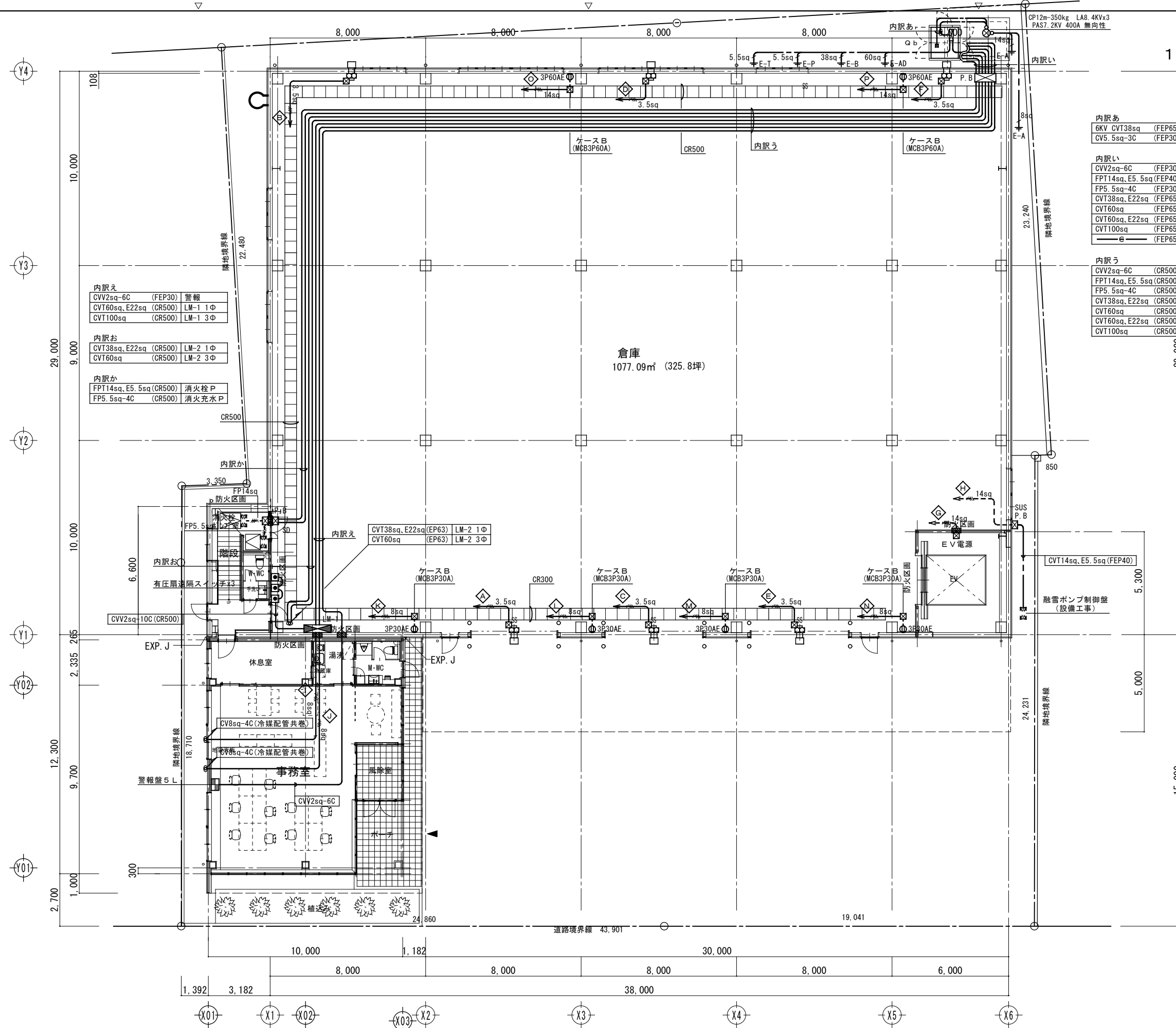




盤名 形式 設置場所	電源結線 電源仕様 主幹容量	分電盤回路仕様				備考
		回路 番号	電圧 V	配線用しや断器 AF/AT	負荷名称	
		⑲	100	ELB 2P 30/20	事務室床受口	
		⑳	100	↑	事務室床受口	
		㉑	100	↑	休息室受口	
		㉒	100	↑	休息室A/C受口	
		㉓	100	↑	湯沸室受口	
		㉔	100	↑	湯沸室流し台受口	
		㉕	100	↑	湯沸室温水器受口	
		㉖	100	↑	MWC便座他受口	
		㉗	100	↑	MWC温水器受口	
		㉘	100	↑	MWCハンドドライヤー受口	
		㉙	100	↑	WWCハンドドライヤー受口	
		㉚	100	↑	WWC温水器受口	
		㉛	100	↑	WWC便座受口	
		㉜	100	↑	電動シャッター	
		㉝	100	↑	電動シャッター	
		㉞	100	↑	倉庫受口	
		㉟	100	↑	倉庫受口	
		㊱	100	↑	倉庫受口	
		㊲	100	↑	倉庫受口	
		㊳	100	↑	倉庫受口	
		㊴	100	↑	倉庫受口	
		㊵	100	↑	リモコンランス	伝送ユニット、T/U
		㊶	100	↑	予備	
		△予	100	スペース	予備	
		△予	100	↑	予備	



盤名 形式 設置場所	電源結線 電源仕様 主幹容量	分電盤回路仕様				備考
		回路 番号	電圧 V	配線用しや断器 AF/AT	負荷名称	



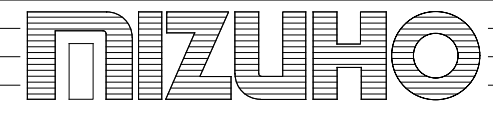
内訳あ	
6KV CVT38sq (FEP65)	高圧
CV5.5sq-3C (FEP30)	SOG
内訳い	
CVV2sq-6C (FEP30)	警報
FPT14sq, E5.5sq (FEP40)	消火栓 P
FP5.5sq-4C (FEP30)	消火栓水 P
CVT38sq, E22sq (FEP65)	LM-2 1φ
CVT60sq (FEP65)	LM-2 3φ
CVT60sq, E22sq (FEP65)	LM-1 1φ
CVT100sq (FEP65)	LM-1 3φ
—e— (FEP65)	予備
内訳う	
CVV2sq-6C (CR500)	警報
FPT14sq, E5.5sq (CR500)	消火栓 P
FP5.5sq-4C (CR500)	消火栓水 P
CVT38sq, E22sq (CR500)	LM-2 1φ
CVT60sq (CR500)	LM-2 3φ
CVT60sq, E22sq (CR500)	LM-1 1φ
CVT100sq (CR500)	LM-1 3φ

内訳え	
CVV2sq-6C (FEP30)	警報
CVT60sq, E22sq (CR500)	LM-1 1φ
CVT100sq (CR500)	LM-1 3φ
内訳お	
CVT38sq, E22sq (CR500)	LM-2 1φ
CVT60sq (CR500)	LM-2 3φ
内訳か	
FPT14sq, E5.5sq (CR500)	消火栓 P
FP5.5sq-4C (CR500)	消火栓水 P

CVT38sq, E22sq (EP63)	LM-2 1φ
CVT60sq (EP63)	LM-2 3φ

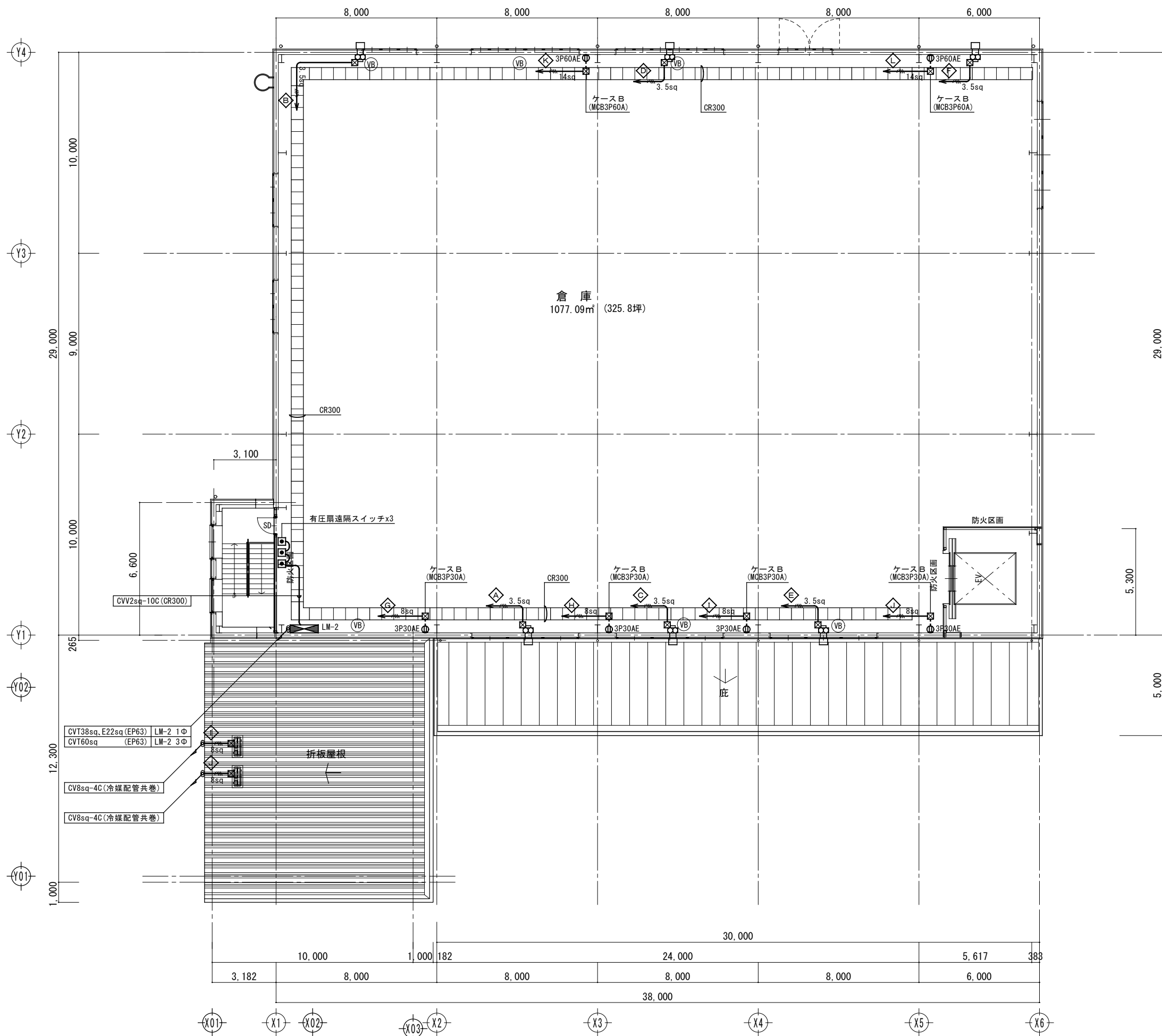
特記なき配管配線は以下の通りとし、
立下、立上は配管にて保護する。

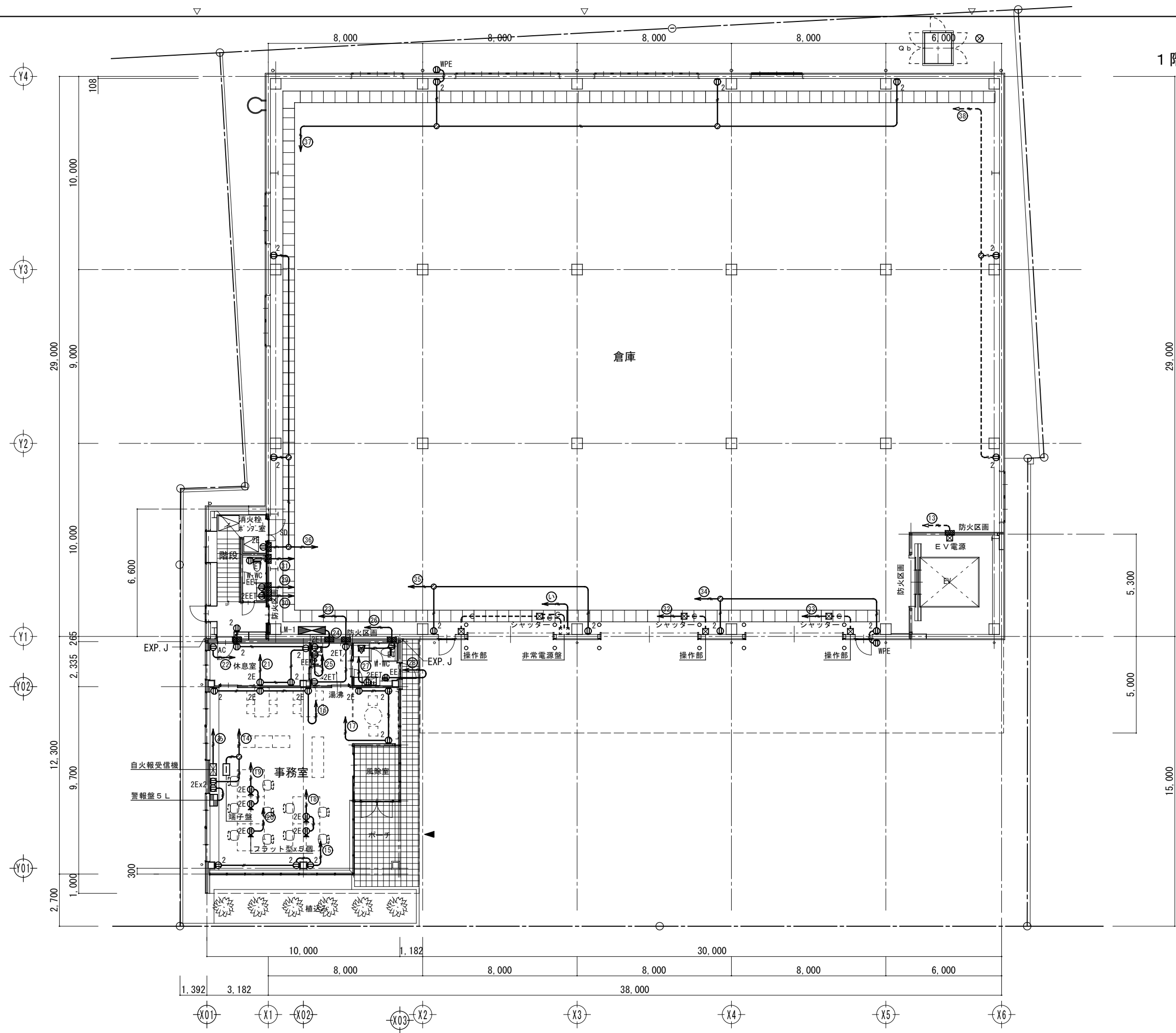
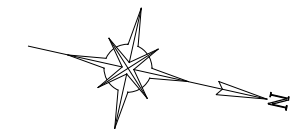
3.5sq	CV3.5sq-4C
8sq	CV8sq-4C
14sq	CVT14sq, E5.5sq
14sq	CVT14sq, E5.5sq (EP39)
FP5.5sq	FP5.5sq-4C (EP31)
FPT14sq	FPT14sq, E5.5sq (EP39)
—	防火区画貫通箇所



総合建設業
みづほ工業株式会社
 一級建築士事務所 知事登録1027号 一級建築士 第150116号 池田 憲成
 金沢市八日市5丁目562番 TEL (076) 240-7010

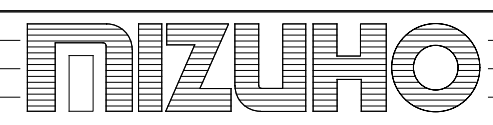
工事名称 大西運輸(株)本社倉庫新築工事
 図面名称 引込、1階幹線、動力設備図 図面番号 E-05
 御承認 検図 製図 作成 '19.11.00 縮尺 1/200 出力





特記なき配管配線は以下の通りとし、
立下、立上は配管にて保護する。

	VVF2.0-2C
	VVF2.0-3C
	VVF2.0-2C (EP25)
	VVF2.0-3C (EP25)
	VVF2.0-3C (PF22)
	Fe0.9 (EP25)
	防火区画貫通箇所



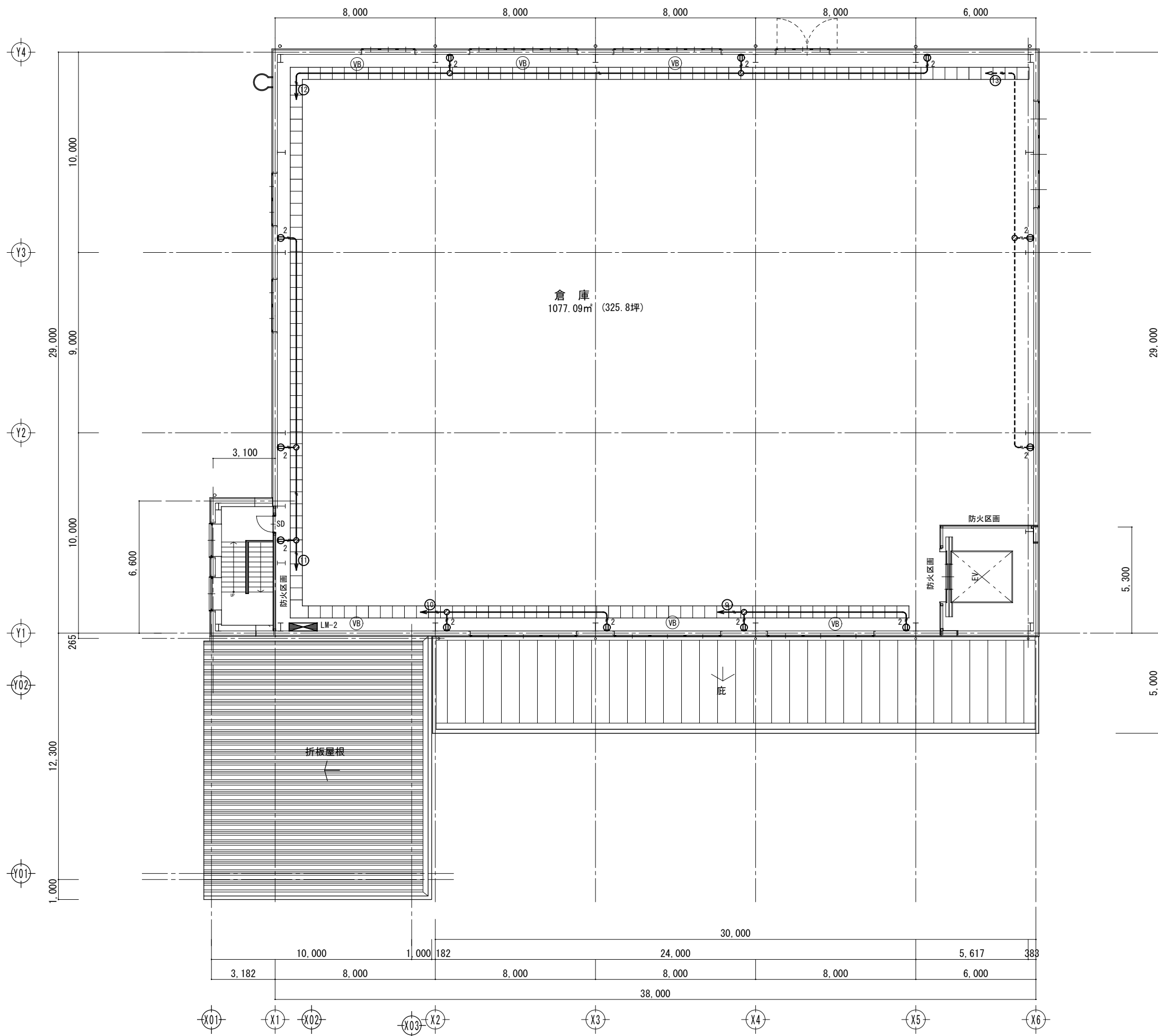
総合建設業
みづほ工業株式会社
 一級建築士事務所 知事登録1027号 一級建築士 第150116号 池田 憲成
 金沢市八日市5丁目562番 TEL (076) 240-7010


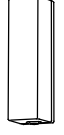

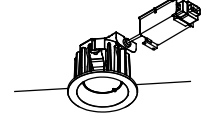
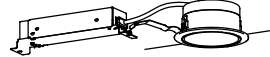

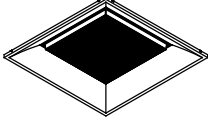
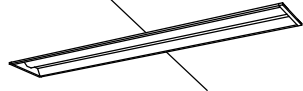






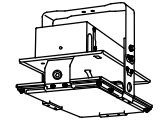
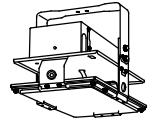
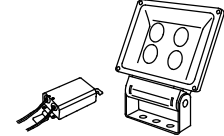
工事名称 大西運輸(株)本社倉庫新築工事

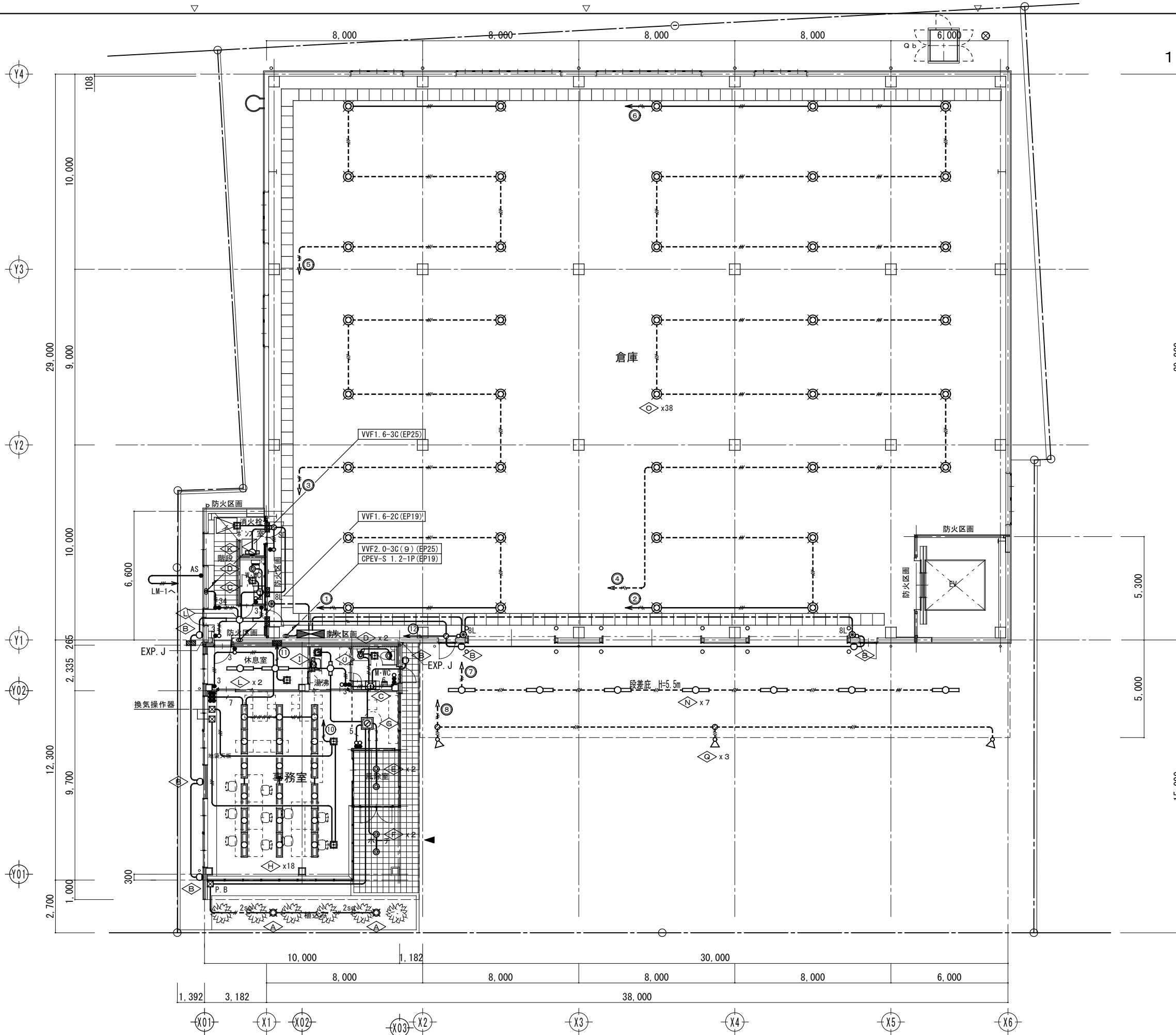
図面名称 1階コンセント設備図

図面番号 E-07

御承認 検図 製図 作成 '19.11.00 縮尺 1/200 出力



◇A	LED 4.3Wx1 77°ロ-チ灯	◇B	LED 7.1W BK WP センサー付	◇C	LED 5.9W BK	◇D	LED 6.3Wx1 DL	◇E	LED 15.5Wx1 DL	◇F	LED 15.5Wx1 DL WP	◇G	LED 49.7Wx1 埋込
	電球色 		昼白色 		温白色 		温白色 		昼白色 		昼白色 		昼白色 
	ハナソニック XLGE 5042 SZ		ハナソニック LGWC 81290 LE1		ハナソニック LGB 51515 LE1		ハナソニック LGB 73301 LE1		ハナソニック XND 2030WN LE9		ハナソニック XNW 2031WN LE9		ハナソニック 埋込XLX 180UKN LA9
◇H	LED 31.9Wx1 埋込	◇I	LED 9.5W 手元灯	◇J	LED 21.8Wx1 V型	◇K	LED 21.8Wx1 笠付	◇L	LED 31.9Wx1 V型	◇M	LED 31.9Wx1 BK	◇N	LED 43.1Wx1 笠付 WP
	昼白色 		昼白色 		昼白色 		昼白色 		昼白色 		昼白色 		昼白色 
	ハナソニック 埋込XLX 450RENT LE9		ハナソニック LGB 85040 LE1		ハナソニック 直付XLX 230AENJ LE9		ハナソニック 直付XLX 230KENJ LE9		ハナソニック 直付XLX 450AENT LE9		ハナソニック 直付XLX 450CENT LE9		ハナソニック 直付XLW 462KENZ LE9
◇O	LED 84.7W CP	◇P	LED 111.9W CP	◇Q	LED 73.4W 投光器 WP	◇		◇		◇		◇	
	昼白色 		昼白色 		昼白色 								
	ハナソニック NYM 20101 LR9		ハナソニック NYM 20102 LR9		ハナソニック スポットライトXY 6830 LE9 + YK 05183K (架台)								
◇		◇		◇X		◇		◇		◇		◇	



特記なき配管配線は以下の通りとし、
立下、立上は配管にて保護する。

	VVF1.6-2C
	VVF1.6-3C
	VVF1.6-2Cx2
	VVF1.6-2C+VVF1.6-3C
	VVF2.0-2C
	VVF2.0-3C
	VVF1.6-3C (EP25)
	VVF2.0-3C (EP25)
	CV2sq-2C (PF22)
	CPEV-S 1.2-1P
	防火区画貫通個所



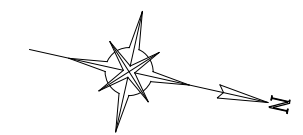
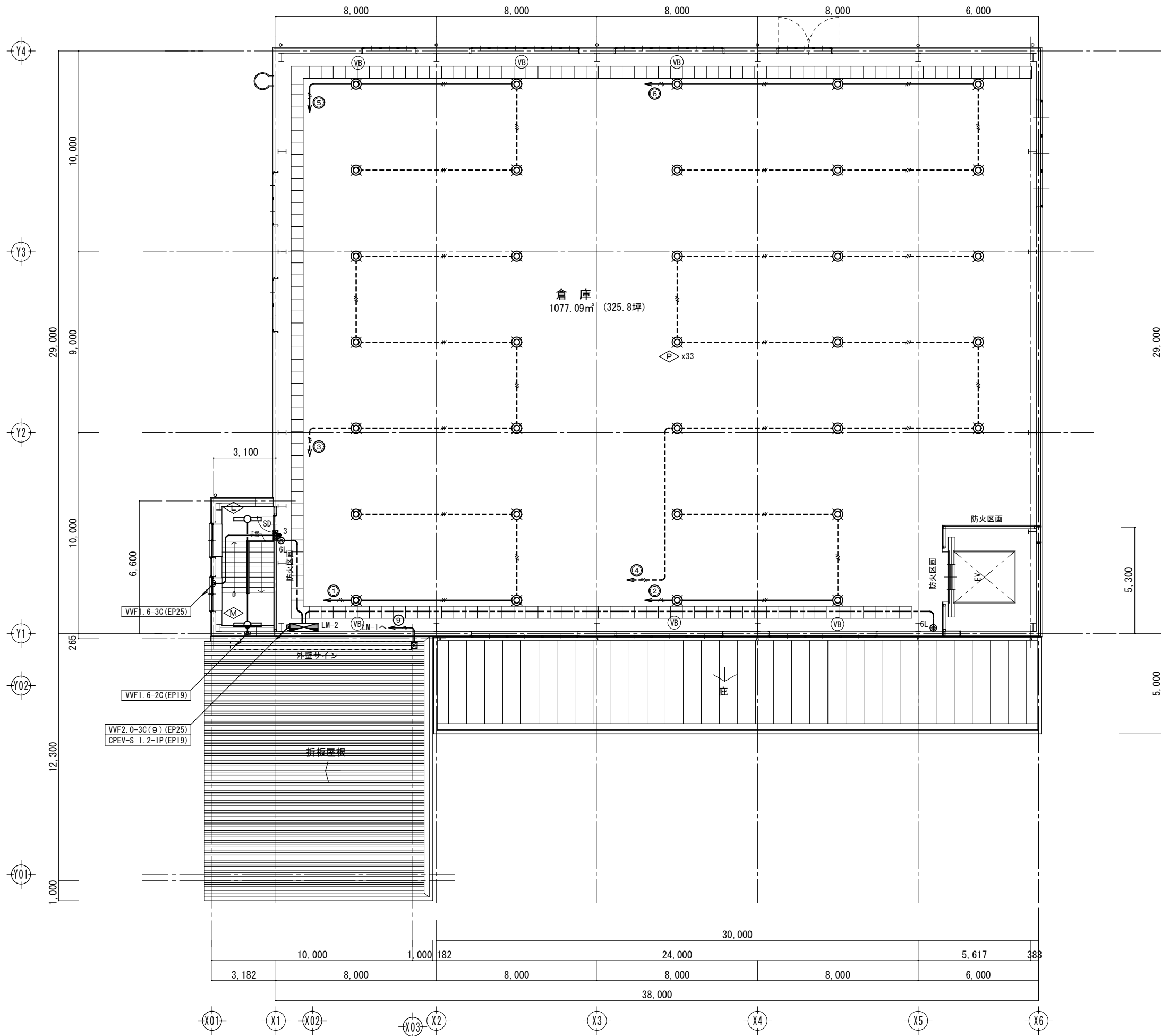
総合建設業
みづほ工業株式会社
一級建築士事務所 知事登録1027号 一級建築士 第150116号 池田 憲成
金沢市八日市5丁目562番 TEL (076) 240-7010

工事名称 大西運輸(株)本社倉庫新築工事

図面名称 1階電灯設備図

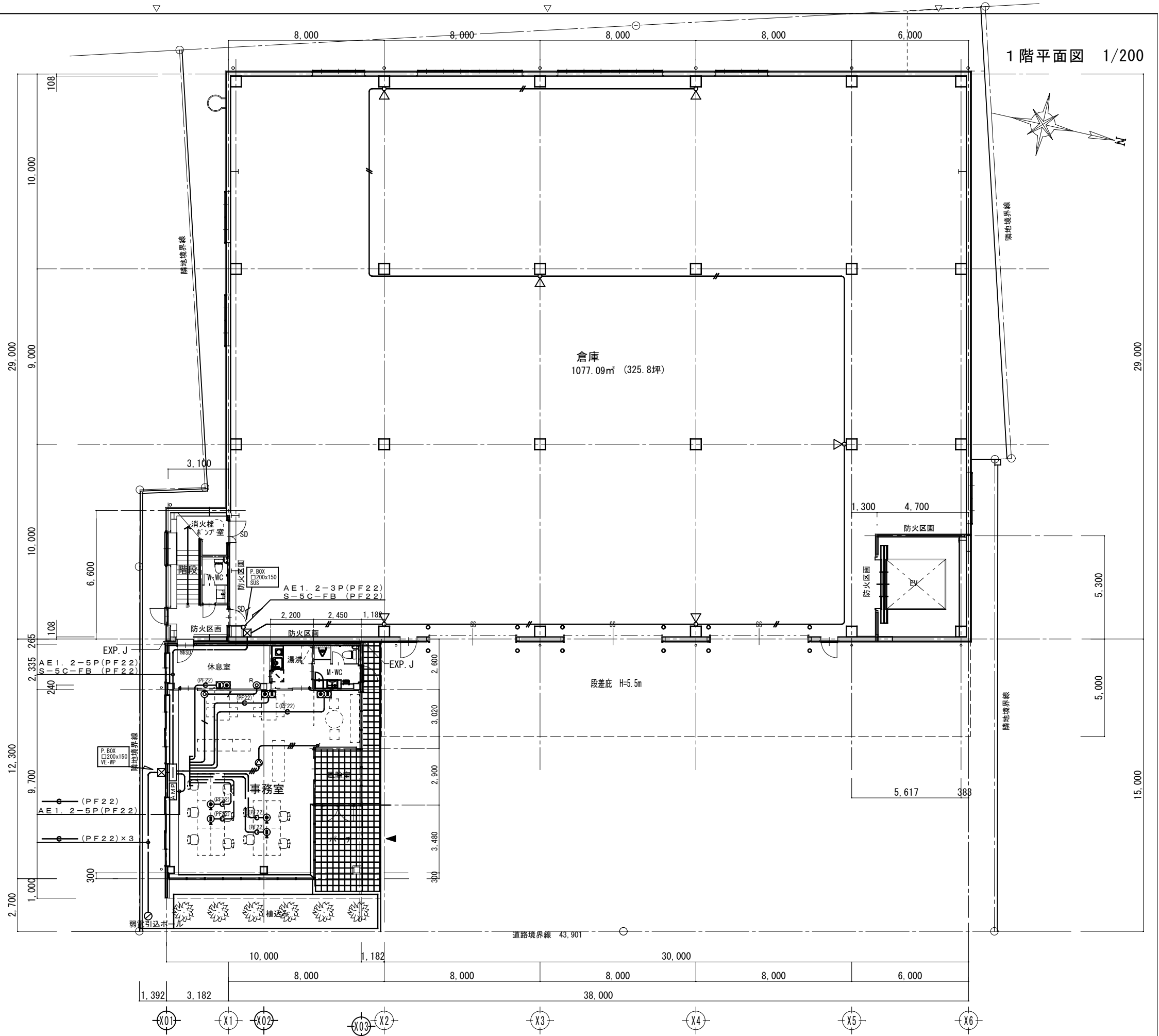
図面番号 E-10

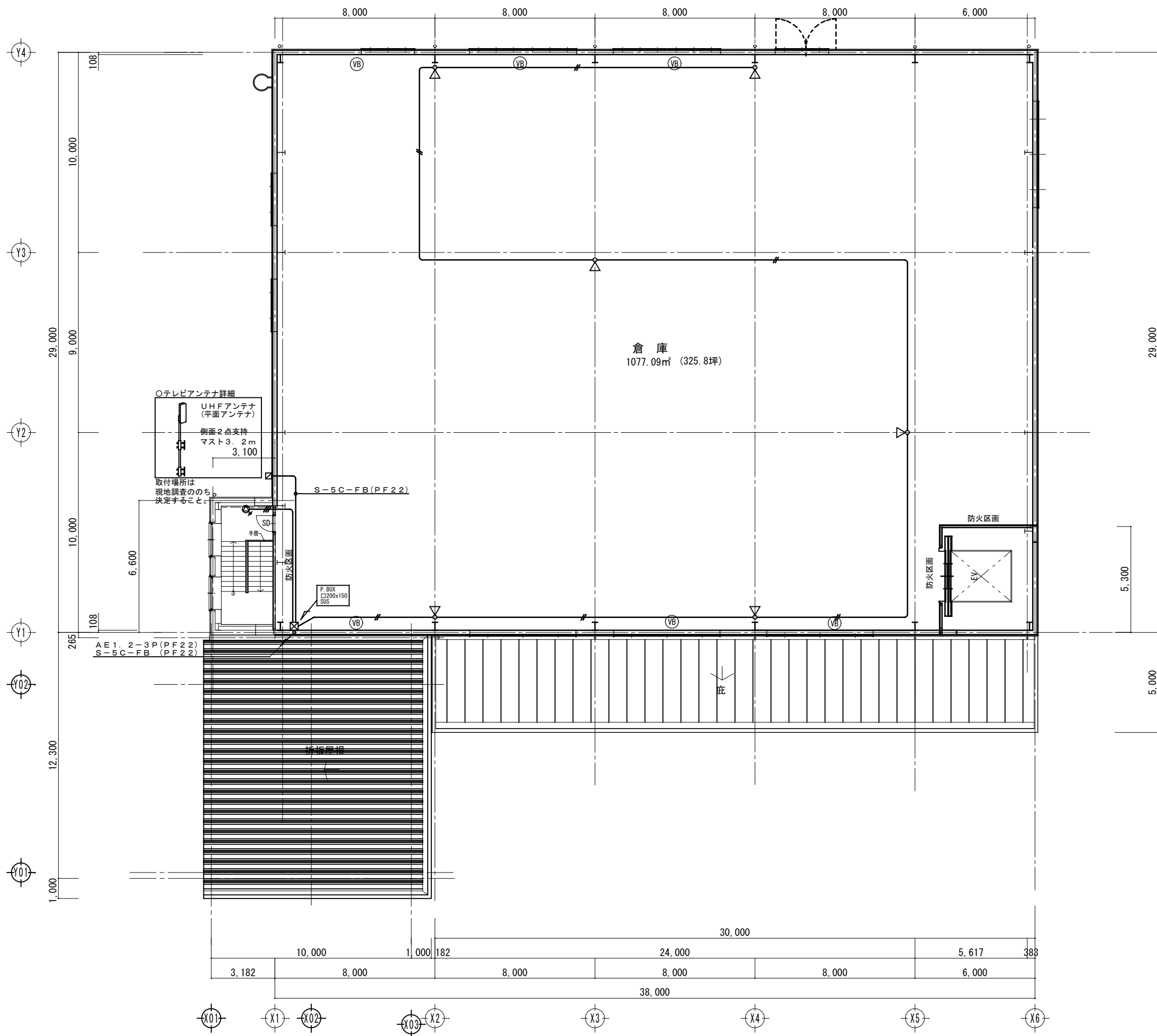
御承認 検図 製図 作成 '19.11.00 縮尺 1/200 出力



○館内放送・テレビ・インターホン設備 機器・配線凡例

記号	名称	備考
AMP	卓上型アンプ	60W 5局 ページング放送対応
⊙	天井埋込型スピーカー	1W・3W
⊙	壁掛型スピーカー	1W・3W 音量調整器内蔵
△	ワイドホーンスピーカー	1W・3W・6W
∅	壁面音量調整器	4段階調整
—//—	配線・配管(放送)	AE1. 2-2C ケーブル鉄骨留め
—//—	配線・配管(放送)	AE1. 2-3C 天井内ころがし
⊙	直列ユニット	中間型 1端子 4K8K対応品
⊙ _R	直列ユニット	端末型 1端子 4K8K対応品
⊠	防雨入線プレート	壁面取付
—5C—	配線・配管(テレビ)	S-5C-FB 天井内ころがし
⊙	電話アウトレット	壁面 本工事にて電話チップ取付
⊙	電話アウトレット	フロアコン 電気工事
⊙	情報アウトレット	壁面 本工事にて電話チップ取付
⊙	情報アウトレット	フロアコン 電気工事
—(PF22)—	配線・配管(電話・情報)	空配管(PF22) 天井内ころがし
—(PF22)—	配線・配管(電話・情報)	空配管(PF22) スラブ配管





○自動火災報知設備 機器凡例

記号	名称	備考
☒	火災受信盤	P型1級 15回線 壁掛型
☐	機器収容箱	Ⓢ Ⓣ 収容 露出型 屋内消火栓組込
Ⓢ	発信機	P型1級 フラット型表示灯付
Ⓣ	地区ベル	DC24V 8mA
☐	差動式スポット型感知器	2種
☐	差動式スポット型感知器	2種 防水型
☐	定温式スポット型感知器	1種 防水型
☐	光電式スポット型感知器	2種 非蓄積型
☐	光電式スポット型感知器	2種 非蓄積型 天井裏取付
☐	光電式スポット型感知器	2種 非蓄積型 側面点検ボックス収容
Ω	終端抵抗	10kΩ

○自動火災報知設備 機器凡例

記号	名称	備考
☒ _H	消火栓始動装置	消火栓ポンプ制御盤上部に取付
☐ _H A	消火栓ポンプ制御盤	設備工事
☐ _J P	補助加圧ポンプ制御盤	設備工事
☒	プルボックス	弱电配線接続用 電気工事
☒	防火区画貫通処理箇所	参考図参照
—	配線・配管	特記参照
—	警戒区域線	自火報用
Ⓢ	警戒区域番号	自火報用 1~12

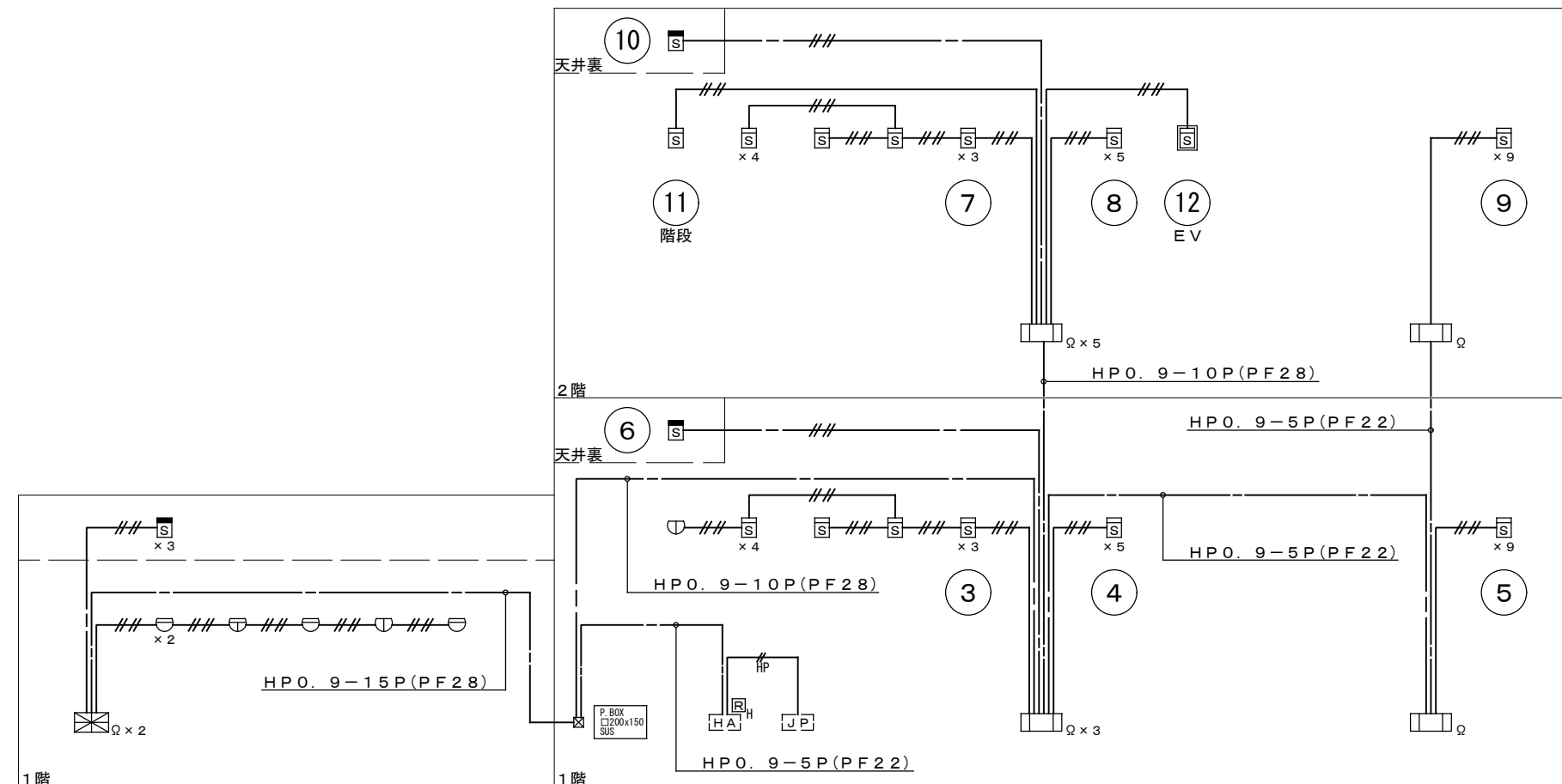
○特記事項

1. 特記なき配線・配管は下記とする。

- ##— AEO. 9-4C
- ##— AEO. 9-4C 天井裏回路
- HP— HPO. 9-2C

※事務所内：天井内ころがし 倉庫内：ケーブル鉄骨留め

2. 天井裏感知器の直近に点検口を設置すること。(建築工事)



自動火災報知設備 系統図

防火区画貫通処理参考図 (国土交通省認定工法) ☒部分を示す

